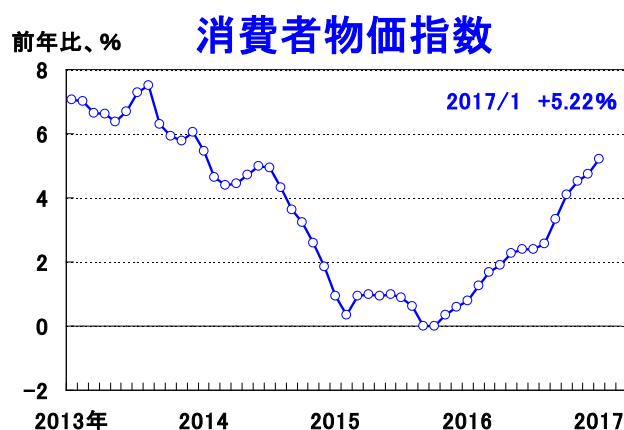
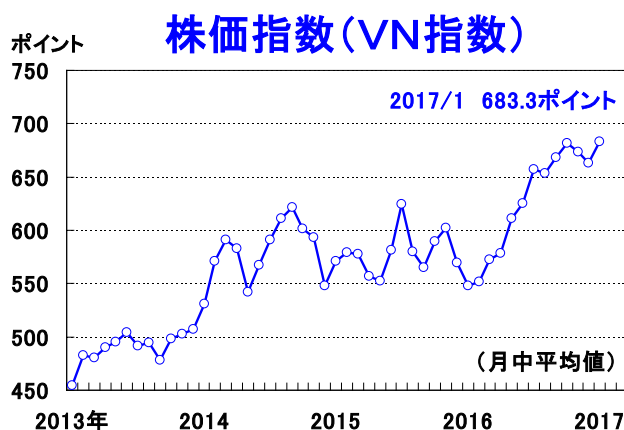
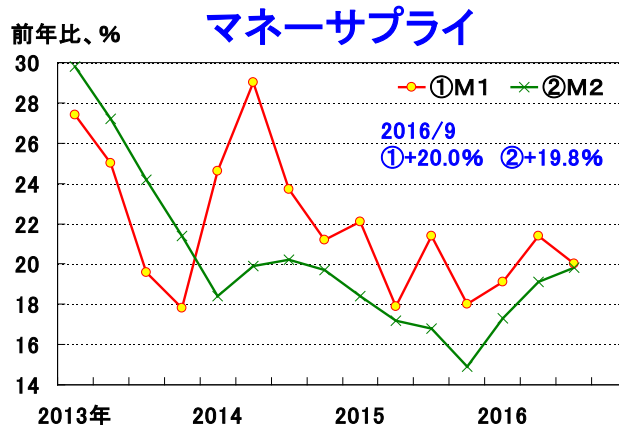
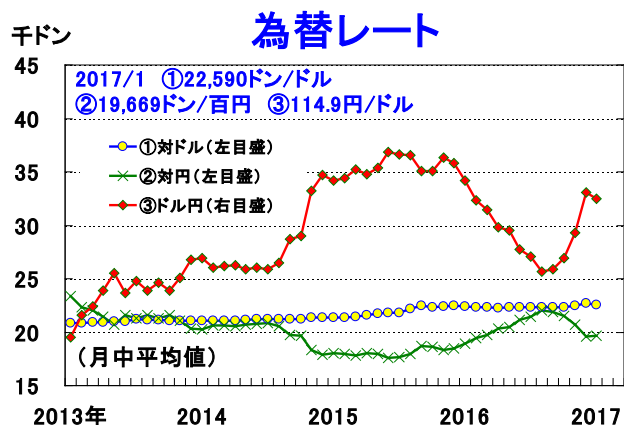
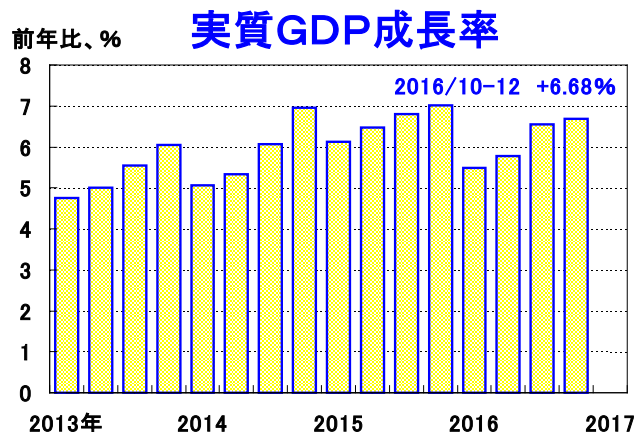
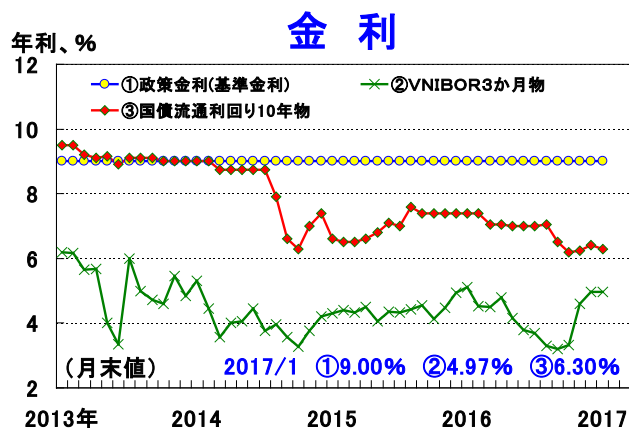


グラフで見るベトナム経済 2017年2月号(No. 85)

ベトナムの2017年1月の景気指標は、旧正月(テト)の一時的な影響で弱含みとなった。経済活動が停滞する旧正月休暇期間が昨年は2月内(6～14日)となったのに対し、今年は1月から始まった(1月26日～2月1日)ためである。小売売上高は前年比+9.9%と2016年10月以来の低い伸びとなった。輸出は前年比+9.3%と前月の伸び(同+20.7%)を大きく下回り、鉱工業生産も同+0.7%と2014年1月以来の低い伸びを記録した。一方、製造業PMIは51.9と14か月連続で中立水準の50を上回り、製造業の景況感は堅調に推移している。

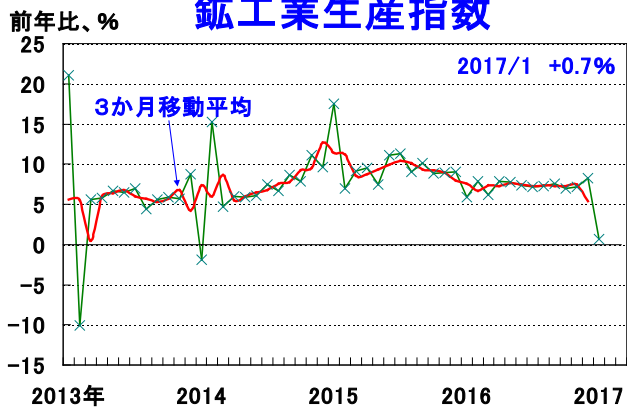


【今月のトピック:3月からカジノが試行的に解禁へ】ベトナムの合法カジノは外国人向けであり、ベトナム人の入場は禁止されていた。政府は2017年3月15日からこの規制を見直し、年齢や収入等の要件を満たした内国人のカジノ入場を解禁する。この措置は試行的に導入され、3年後に継続の可否が判断される。2014年のベトナムの合法カジノの売上高は1兆3,790億ベトナムドン(約74億円)に上った。今回の措置により、カジノ目的でカンボジア等に旅行していたベトナム国民のギャンブル需要を国内に取り込み、税収にもプラス効果が出ることが期待されている。

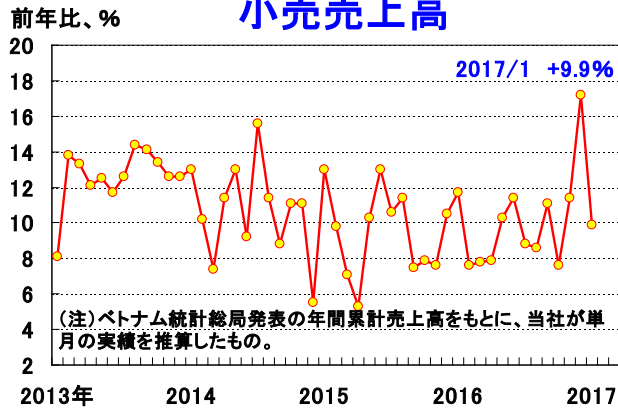
(出所) ベトナム国家銀行(SBV)、ベトナム統計総局(GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

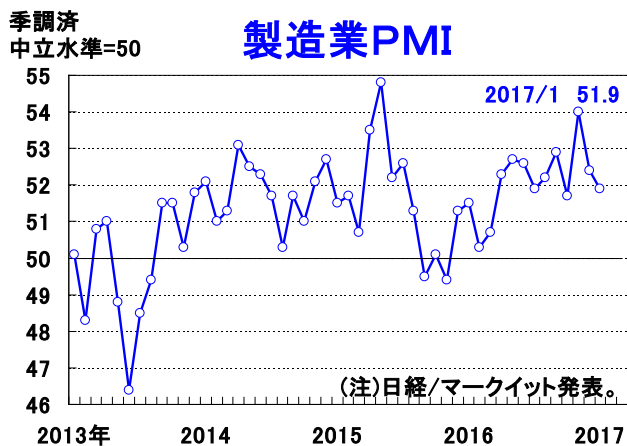
鉱工業生産指数



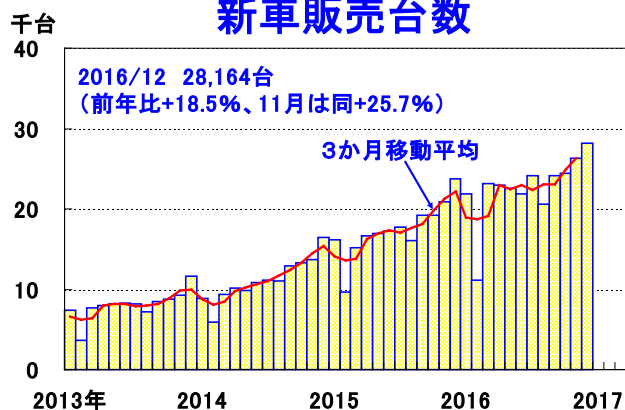
小売売上高



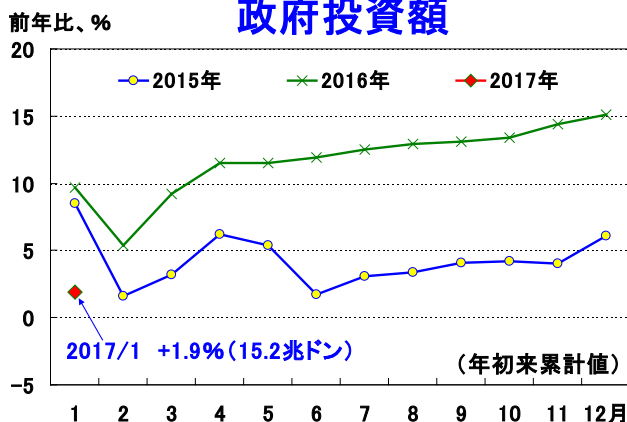
製造業PMI



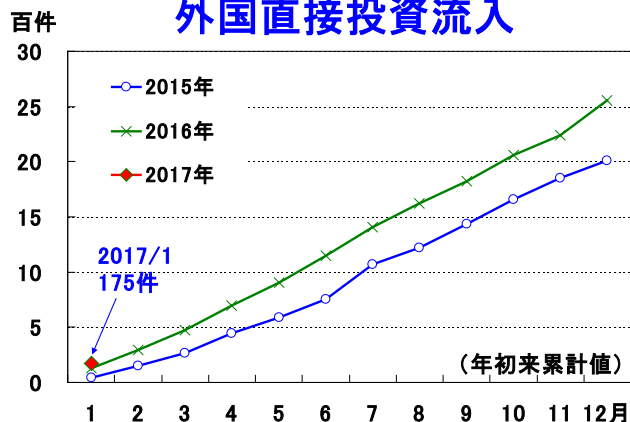
新車販売台数



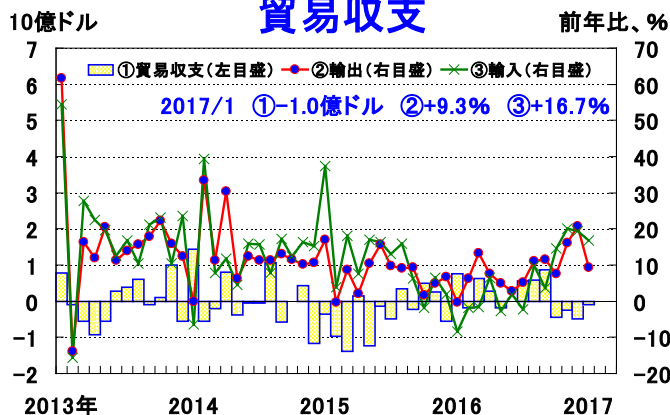
政府投資額



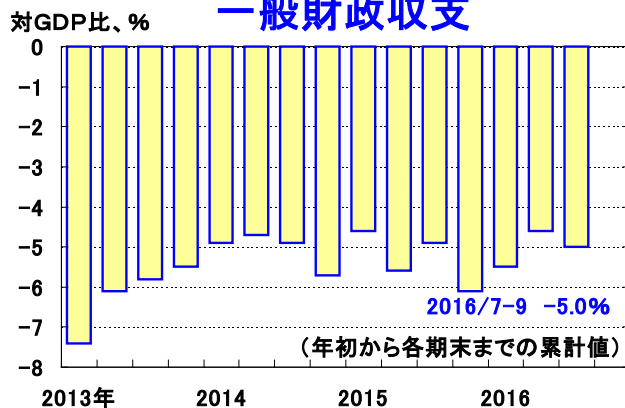
外国直接投資流入



貿易収支



一般財政収支



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。